

Trainee's Mate

No.197 June 2009 < Hiragana/English version >
Issue: Japan International Training
Cooperation Organization (JITCO)
Public Relations Division,
Administration Department
Tel: 03-6430-1166
Address: Sumitomo Hamamatsucho Bldg. 4F
1-18-16 Hamamatsucho, Minato-ku,
Tokyo 105-0013

研修生の友

第197号 2009年6月 < ひらがな・英語版 >

発行 財団法人 国際研修協力機構 (JITCO)
総務部 広報室 電話: 03-6430-1166

〒105-0013
東京都港区浜松町 1-18-16 住友浜松町ビル 4F

Information on the Industrial Training and Technical Internship Program



けんしゅう じっしゅうじょうほう 研修・実習情報

りょけん がいこくじんとうろくしょうめいしょ よきんつうちょう ほかん —旅券・外国人登録証明書・預金通帳の保管について—

にせんなねんじゅうにがつ ほうむしようにゆうこくかんりきやく かいてい けんしゅうせいおよ ぎのうじっしゅうせい にゆうこく ざいりゅうかんり かん ししん
2007年12月に法務省入国管理局が改訂した「研修生及び技能実習生の入国・在留管理に関する指針」で
うけい きかん けんしゅうせい ぎのうじっしゅうせい しつそうともんだいじれい ほつせい ぼうし こうじつ けんしゅうせいとう たい しゅくしゃ
は、「受入れ機関が、研修生・技能実習生の失踪等問題事例の発生を口実として、研修生等に対し宿舎
がいしゅつ きんし けんしゅうせいとう りょけん がいこくじんとうろくしょうめいしょ あず
からの外出を禁止したり、研修生等の旅券や外国人登録証明書を預かったりしてはいけません。」と、これら
たんぼ と けんしゅうせいとう こうどう せいやく ふてきせつ ほうほう けんしゅうせいとう かんり きんし
を担保に取って研修生等の行動に制約をかけることを不適切な方法による研修生等の管理として禁止していま
す。

りょけん がいこくじんとうろくしょうめいしょ ほんにん しょゆうけん かんりけん にほん ざいりゅう がいこくじん
旅券や外国人登録証明書は、その本人に所有権ないし管理権があります。そして日本に在留する外国人には、
りょけん がいこくじんとうろくしょうめいしょ ほうれいじょうけいたいぎ む か ほんにん つね けいたい にゆうこく
旅券や外国人登録証明書は法令上 携帯義務が課せられているので、それぞれこれを本人が常に携帯し、入国
しんさかん にゆうこくけいびかん けいさつかんなどけんげん こうむいん もと ばあい ていじ いほん
審査官・入国警備官・警察官等権限のある公務員から求められた場合には、呈示しなければなりません。違反し
けいじばつ きてい ほんにん いがい もの ほかん ゆる
たときの刑事罰も規定されていますので、本人以外の者がこれらを保管することは許されないこととなります。

りょけん がいこくじんとうろくしょうめいしょ けいたい りょけん けいたいぎ む めんじよ ほんにん
旅券については、外国人登録証明書を携帯しているときには旅券の携帯義務が免除されていることから、本人
ほかん げんそくじょう しんかいていませ てきとう ほかんばしよ どうなん ふんしつ ぼうし ほかん ほんにん
保管の原則上、指針改訂前には、適当な保管場所がないので盗難・紛失を防止するために保管してほしいと本人
じはつてき ぶんしよ いらい ばあい かぎ うけい きぎょう あずか しょう こうふ ほかん さつか
から自発的に、文書による依頼があった場合に限っては、受入れ企業が 預り証を交付して保管しても差し支え
うんよう かいいていしん かり けんしゅうせい ほかん ほ むね ようぼう
ないとする運用がなされてきました。しかし、改訂指針においては、「仮に、研修生から保管して欲しい旨の要望
あず じっさい ほうれいほん と ふせいこういにてい
があったとしても、預かるべきではありません。……、実際に法令違反を問われなくても、……不正行為認定の
たいしょう めいき うけい きかん ほかん じたい きび きん ぎのうじっしゅうせい
対象となります。」と明記され、受入れ機関が保管すること自体が厳しく禁じられました。技能実習生について
どうよう
も同様です。

しせい う だ はいけい うけい きかん いっかつ ほかん ほうしん もと ぎょうせいきかんなど しどう
このような姿勢が打ち出された背景には、受入れ機関が一括保管するという方針の下に、行政機関等の指導で
おくりだ きかん りょうかいじこう せつめい にゆうこくご じじょう わ じゅうぶん せつめい
あるとか、送し機関との了解事項であるとか説明し、あるいは入国後よく事情が分からないうちに十分な説明
さいん じじつじょうと あ けんしゅうせいとう こうどうせいやく ほか けーす おお かんか
をしないままサインをさせ、事実上 取り上げて研修生等の行動制約を図るケースが多いという看過できない
げんじつ ほんにんほかん げんそく つらぬ かいぜん ほか ほうむしようにゆうこくかんりきやく い と
現実があり、本人保管の原則を 貫くことで改善を図ろうとする法務省入国管理局の意図がうかがえます。

いま けんしゅうせいとう りょけん ほかん うけい きかん すみ ほんにん へんかん ひつじょう
もし、今もなお、研修生等の旅券を保管している受入れ機関があれば、速やかに本人に返還する必要があるま
けんしゅうせい ぎのうじっしゅうせい りょけん がいこくじんとうろくしょうめいしょ じぶんじしん かくじつ ほかん
すし、研修生・技能実習生のみなさんは、旅券・外国人登録証明書を自分自身で確実に保管するようにしてく
いっぽう ぐたいてき ほかんしゅだん ふあん おぼ ほかん ほうほう ばしよ うけい きぎょう そうだん
ださい。その一方で、具体的な保管手段に不安を覚え、保管の方法や場所について受入れ企業に相談することも
おも たと かいしゃ ほかん こ たいよ ばあい かぎ じしん かんり
あるかと思えます。例えば、会社の保管庫を貸与してもらった場合は、その鍵はみなさん自身で管理し、
きちようひん せきにん も しんちよう あつか
貴重品として責任を持って、慎重に扱うようにしてください。

けんしゅうせいとう よきんつうちよう かいていししん ようぼう あず めいき きん
また研修生等の預金通帳についても、改訂指針では、要望があっても預かるべきではないと明記して禁じて
きゃっしゅカード げんきん ちよくせつ きさい しゅし どうぜん きんし よ
います。キャッシュカードや現金については直接の記載がありませんが、これらの趣旨からして当然に禁止と読
むことができます。

にほん けんしゅうせい ぎのうじっしゅうせい いがい おお がいこくじん りゅうがく かいしゃづと など かれ
日本には研修生・技能実習生のみならずにも多くの外国人が留学や会社勤め等をしています。彼らから
りょけん よきんつうちよう あず がっこう かいしゃ どうよう たんぽ と こうどう せいやく こうい
旅券や預金通帳を預かる学校や会社がないのと同様に、これらを担保に取ることで行動を制約する行為は、
いっばんしゃかい め じんじょう うつ
一般社会の目には尋常ではないこととして映っています。

しん にゅうこくもくてき けんしゅう ぎのうじっしゅう にゅうこくご うけい きかん けいやく しょう
みなさんの真の入国目的は研修・技能実習であり、入国後に受入れ機関が契約のとおり処遇すれば、そもそ
たんぽ と しっそうなど ぼうし ひつよう うけい きかん たい けんしゅうせい せんぱつ しょう じしん
も担保まで取って失踪等を防止する必要はないはずです。受入れ機関に対しては、研修生の選抜と処遇に自信を
うんえい のぞ けんしゅうせい ぎのうじっしゅうせい こくさいじん りょけん よきんつうちよう ほんかん
もてる運営こそが望まれますし、研修生・技能実習生のみならずには国際人として、旅券や預金通帳などの保管
さい ふんしつ どうなんなど じゅうぶんちゅうい じゅうじつ けんしゅう ぎのうじっしゅうせいかつ おく ねが
の際には紛失・盗難等に十分注意して、充実した研修・技能実習生活を送っていただくよう、お願いします。

-Looking After Your Passport, Certificate of Alien Registration and Bank Book-

In the revised “Guidelines Concerning Entry and Residence Management of Trainees and Technical Interns,” issued by the Ministry of Justice in December 2007, it is stated that the accepting organization must not prevent a trainee or technical intern from leaving his or her residence or take possession of his or her passport or Certificate of Alien Registration on the pretext of preventing them from absconding. Restricting the freedom of movement of a trainee or technical intern by taking possession of their passport or Certificate of Alien Registration is considered to be an improper method of managing that person, and is prohibited.

The person whose name is on the passport or Certificate of Alien Registration is the person who has the right to hold and manage his or her own document. In addition, foreigners residing in Japan are obliged to have their passports on their person at all times by law, and required to show them upon request to authorized public officials, including immigration officials and police officers. The Alien Registration Act makes the same stipulations regarding the individual’s Certificate of Alien Registration. Breaking these laws results in criminal penalties, and therefore no-one other than the person named in the document is allowed to take possession of a passport or Certificate of Alien Registration.

When an individual has a Certificate of Alien Registration, they are not required to keep their passport on their persons at all times. Because of this, before the revision of the guidelines, although there was a principle of keeping them by him- or herself, if trainees and technical interns had no safe place to store their passport, up to the present they had been allowed to ask their accepting company to store their document by issuing a safekeeping receipt, based on a voluntary request in writing, to prevent their passport from being stolen or destroyed.

However, the new guidelines from the Ministry of Justice strictly prohibit an accepting company from looking after a trainee’s passport, stating that a company should not take charge of a trainee’s passport even if the trainee specifically requests them to do so, because it would be regarded as improper conduct, without regard to whether there has been any violation of the law or not. The situation is the same in the case of technical interns.

Under the system in which the accepting company was able to look after a trainee’s passport, there were many cases in which companies would have trainees sign a request for the company to take their passport, claiming that it was acting on instructions from an administrative authority or that it had an agreement to do so with the sending organization, or simply exploiting the fact that the trainee had just entered the country and did not fully understand the system. Having taken the trainee’s passport, the company could restrict his or her freedom of movement. This is what has prompted the Immigration Bureau, the Ministry of Justice to improve the regulations by emphasizing the principle that each individual should be responsible for their own passport.

If there are still any companies that take charge of the passports of trainees or technical interns, they are obliged to return them as quickly as possible, and trainees and technical interns are expected to look

after their passports and Certificates of Alien Registration themselves. If you have genuine concerns about your ability to look after your passport, then you might be able to consult with your accepting company about how and where to store it. If the company loans you a safety box, be sure to keep the key to the box yourself, and look after it carefully as a precious item.

The new Ministry guidelines also state that no company should take charge of a trainee or technical intern's savings book, even if they are requested to do so by the individual themselves. The guidelines do not specifically address cash cards or cash, but we can assume from the other regulations that it would also be prohibited for companies to take charge of such items for trainees and technical interns.

Many other foreigners also study or work in Japan, apart from trainees and technical interns. None of their schools or places of employment take charge of their passports or savings books. Taking these documents "in pledge" in order to restrict a person's freedom of movement would also not be considered normal in the case of trainees and technical interns.

Your main purpose in coming to Japan is to do a traineeship or technical internship, and if your accepting company abides by the terms of its contract with you after you have entered the country, there should be no need to take your documents in order to prevent you from running away. Of course, it is expected of accepting organizations to select and treat trainees with absolute confidence under their operation. At the same time, we ask our trainees and technical interns as internationally-minded people to take good care of their passports, savings books and other important documents to prevent them from being lost or stolen, in order to ensure that they get the most out of their industrial training and technical internships.

Message from JITCO



JITCOからのお知らせ

JITCO

—失踪防止について—

研修生受入れ事業は、日本の技術・技能、知識を開発途上国などの青壮年労働者に積極的に移転し、これら諸外国の人材育成と経済社会の発展に寄与する目的で行われていますが、一部の研修生・技能実習生が研修・実習中に失踪する事例が散見されていることは大変残念なことです。

一般に、失踪は、不法就労・不法残留など入管法上の違法行為につながります。さらに、窃盗・強盗・麻薬取引などの重大な刑事犯罪に手を染めるケースもまれに発生しています。このように失踪は、日本の出入国管理の秩序の根幹を乱すのみならず、社会・経済秩序への悪影響、外国人に対する差別待遇等の人権問題の発生など種々の問題の端緒となるおそれがあります。

個人の利己的な失踪は、自分自身の経歴に傷がつくだけでなく、家族・友人・同僚・送出し機関・受入れ機関など多くの関係者に心配や迷惑をかけることを肝に銘じてください。さらに、2007年12月に法務省入国管理局が改訂した「研修生及び技能実習生の入国・在留管理に関する指針」では、具体的に失踪者の人数を示した上で、失踪者の多発については、場合により不正行為に認定され、皆さんが所属している受入れ機関において研修生の受入れが困難となりかねない事態が生じることもあることが明記されていますので、よく認識してください。

研修生・技能実習生の皆さんにお願いしたいことは、来日目的の第一は、技術・技能・知識を修得して、帰国後は母国の経済社会の発展に寄与することにあることを、一人ひとりが再認識し、ルールを守る精神を養うことです。

そして、「もっと稼げるところがある」などの甘い言葉で、安易に失踪の勧誘に乗らないことはもちろん、不法就労者、不法残留者とは付き合わないようにし、仲間内から失踪者を出さないよう、普段から何でも語り合える信頼関係を築いておくことが大切です。

悩みや問題がある場合は、受入れ機関の研修指導員・生活指導員や送出し機関の人に相談してください。JITCOでも研修・技能実習制度やその運用に詳しい中国人・インドネシア人・ベトナム人のスタッフが、電話や手紙による相談に母国語で応じています。

- Prevention of Absconding -

The system of accepting trainees is being operated to actively transfer Japanese technologies, skills and knowledge to young workers in developing countries in order to contribute to the fostering of human resources and the promotion of socioeconomic development in those countries. It is a great pity, therefore, that there are occasionally cases in which trainees and technical interns abscond while doing their traineeship or technical internship.

Absconding is generally related to violations of immigration law, such as working illegally or staying in the country illegally. In a few cases, the absconder has been involved in serious crimes like robbery or drug-dealing. Absconding not only affects the foundations of Japan's immigration system, but also has a negative effect on the country's social and economic order, and is the origin of various other issues, such as the discriminatory treatment of foreigners, a human rights issue.

We would like to ask you to remember that being selfish and absconding not only puts a blemish on your personal record, but also causes problems and worry to a wide range of others, including your family, friends and colleagues, as well as your sending and accepting organizations. In addition, please be aware that there is a stipulation under the revised "Guidelines Concerning Entry and Residence Management of Trainees and Technical Interns," published by the Ministry of Justice in December 2007, after figures for absconding are collated, that states, depending on circumstances, an accepting organization with a high number of absconders might be recognized as being involved in improper conduct, and that it might then become difficult for other organizations to accept trainees.

What we ask is that each of you renew your awareness of the fact that your main purpose in coming to Japan is to gain skills and knowledge so that you will be able to contribute to the social and economic development of your countries when you return, and to cultivate in yourself a spirit of respect for rules. In addition, it is also important to develop relationships of trust with your friends that enable you to talk about anything, to ensure that none of your friends are lured by talk of higher wages elsewhere, have any involvement with others who are working or staying in Japan illegally, or become absconders. If you have any concerns related to these matters, please discuss them with your training instructor or lifestyle mentor at your accepting organization, or with someone at your sending organization. JITCO also has Chinese, Indonesian and Vietnamese staff members who have detailed knowledge of the industrial training and technical internship systems and their operation, enabling you to discuss your concerns by telephone or letter in your own language.



ようしょくぶんか おうどう おむれつ ほん きょうえん
洋食文化の王道！ オムレツとご飯の共演
おむらいす
オムライス

ざいりょう ひとりぶん
材料 (1人分)

- [Chicken rice] ● 1 rice bowl of cooked rice ● Chicken meat ● Onion ● Green pepper ● Carrot ● Half a tomato ● Eringi or shimeji mushrooms ● 1 tsp rice wine or cooking rice wine ● Pinch of salt and pepper ● 1 tbsp tomato ketchup ● 1/3 tbsp chuno or Worcestershire sauce
[Omelette] ● 2 eggs ● 1 tbsp milk ● Pinch of salt and pepper ● Half tbsp of butter

作り方

- 1. 鶏肉を小さめに、野菜を粗みじん切にする。
2. フライパンに油をひいて鶏肉をまず炒め、タマネギと人参、エリンギを加える。火が通ったところにピーマンも加えて炒める。
3. ②にご飯を入れて、鍋肌に焼き付けるように炒め、酒、塩・コショウを入れ、さらにトマトとトマトケチャップ、中濃ソースを入れて味をなじませ、一旦火を止める。
4. ボールに卵と牛乳を入れて、泡立てないように混ぜる。
5. 別の温めたフライパンに油をひいて、キッチンペーパーで余分な油を拭き取る。バターを入れて溶け出したところに④を注ぐ。
6. 卵が半熟になったら火を止め、③のご飯を卵焼きの縦中央に乗せる。ご飯を包むようにオムレツの両端を折ってオムライスをフライパン端に寄せる。
7. 皿とフライパンをV字型に両手で持って、フライパンをひっくり返して皿に乗せ、木の葉型に整える。トマトケチャップをかけて出来上がり。
* 日本料理の一つとして西洋料理を日本流にアレンジして誕生したのが洋食。カレーライスやハヤシライス、ハンバーグ、エビフライなどがあります。その中の人気の洋食メニューの一つがオムライスです。これはオムレツ卵とライスと一緒にしたものです。発祥は明治34年(1901年)、東京の老舗洋食屋「煉瓦亭」の説が一般的で、当時賄い食として出されていたものが、リクエストによりメニューに登場したのがはじまりだとか。
* クリームソース仕立てのライスやピラフ、チャーハンにして、また豪華にデミグラスやホワイトソースなどをかけて、洋食の域を超えた調理工夫も楽しめます。
* ハムやウインナーソーセージ、ミックスベジタブルなどを代用すると簡単です。
* 仕上げのトマトケチャップでメッセージやイラストを描くと楽しいです。

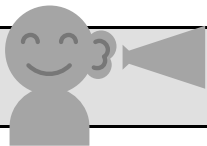
A Japanese Way to Appreciate Western Culinary Culture!
A Duet between an Omelette and Rice
Omu Rice

Ingredients (Serves 1)

- [Chicken rice] ● 1 rice bowl of cooked rice ● Chicken meat ● Onion ● Green pepper ● Carrot ● Half a tomato ● Eringi or shimeji mushrooms ● 1 tsp rice wine or cooking rice wine ● Pinch of salt and pepper ● 1 tbsp tomato ketchup ● 1/3 tbsp chuno or Worcestershire sauce
[Omelette] ● 2 eggs ● 1 tbsp milk ● Pinch of salt and pepper ● Half tbsp of butter

Preparation

- 1. Mince the chicken and chop the vegetables.
2. Pour oil in a frying pan and fry the chicken while adding the onion, carrot and eringi. When cooked, add the peppers and continue frying.
3. Add the rice to the mixture from step 2, and fry, making sure that the rice has direct contact with the inner surface of the pan. Add the rice wine, salt and pepper, then add the tomato ketchup and chuno sauce and stir to blend the flavors. Turn off the heat.
4. Crack the eggs in a bowl and pour in the milk. Mix, being careful not to make the mixture frothy.
5. Heat another frying pan, and pour oil into it. Wipe up any excess oil with kitchen paper. Place the butter in the pan and melt it, and then add the mixture from step 4.
6. When the egg is half-cooked, turn off the heat and place the rice mixture from step 3 lengthwise in the center of the omelette. Bring the edges of the omelette together so that it covers the rice, and move it to the side of the frying pan.
7. Hold a plate in one hand and the frying pan in the other. Upend the pan to place the omelette on the plate, and arrange it in the shape of a leaf. Pour some tomato ketchup on top, and the dish is ready to eat.
* A variety of dishes have been created as a result of efforts to produce Western dishes in a Japanese style, including curry rice, hayashi rice, hanbaagu (hamburger steak), and ebi fry (fried shrimp). Omu rice is one of the most popular dishes to have originated in this way. Omu rice brings together a plain omelette and rice. The dish is said to have originally been a meal for staff at the long-established Western restaurant Renga-Tei in Tokyo, but was placed on the menu in response to a request in Meiji 34 (1901).
* Omu rice can also be prepared in ways that go beyond the realm of Western cuisine, for example with rice prepared in a cream sauce, pilaf or Chinese-style fried rice; for something quite luxurious, a demi-glace or white sauce can be used.
* You can make a simpler omu rice by substituting ham, wiener sausage, mixed vegetables and other items in the recipe.
* It is also enjoyable to write a message or draw a picture with the tomato ketchup added when the omelette is cooked.



にほん
日本のいま
わかもの
～いまどきの若者～

ちかごろ みみ そうしょくけいだし いみ し いっばんてき かていてき やさ れんあい
近頃よく耳にする「草食系男子」。みなさんはこの意味を知っていますか？ 一般的に、「家庭的で優しいけれど、恋愛には
しょうきよくてきに にじゅうだい だんせい よ たいぶ そと いえ す しごとちゅう か し せんざい
消極的な20代の男性」のことを呼ぶそうです。このタイプは、外よりも家が好き、仕事中にはお菓子を欠かさない、繊細である
など いっけんじよせい かん いが いが いが じよせい
等と一見女性らしさを感じさせますが、意外に女性にもてるそうです。

しごと お しょくば どうりょう ゆうじん の い いえ かえ じぶん じかん す でーと じよせい よろこ
さらに、仕事を終えたら職場の同僚や友人と飲みに行くこともなく、家に帰って自分の時間を過ごしたり、デートや女性を喜ばせ
むだづか お ちよちく せい だ じみ けんじつ らいふすたい おく けいこう ふきょうじだい しょうちよう
るために無駄遣いをせず貯蓄に精を出したりといった、地味で堅実なライフスタイルを送る傾向があり、この不況時代を象徴して
いるかのようなのです。

いっばん だんせいしゃかいじん なか しょくひ せつやく べんとう じさん べんとうだしん とうじよう あいさいべんとう
また、一般の男性社会人の中には食費を節約するために、お弁当を持参する「お弁当男子」なるものが登場し、愛妻弁当では
じぶん べんとう つく ひと ふ
なく自分でお弁当を作る人も増えているそうです。

Today's Japan
Young People Today

These days, we often hear the term “*soshokukei danshi* (“grass-eating boys).” Do you know what it means? This term in general refers to men in their twenties who are gentle and good around the house, but passive when it comes to romance. This type of man would rather stay home than go out, can't do without sweets while working, and is quite sensitive. The first impression they make is of being feminine. However, this type of man is apparently unexpectedly popular with women.

What's more, the “grass-eating” type tends to have a simple and frugal lifestyle. After work, he heads home and spends his time doing his own thing rather than going out drinking with friends and work colleagues, and he makes an effort to save rather than spending his money on dates and on pleasing women. He could almost be a symbol of the current recession.

Another new type who has made his appearance among working men is the “*obento danshi*,” who takes a bento to work in order to save on food expenses. It seems that, in the absence of a doting wife to make it for them, more and more men are making their own bento.

さいじき
ことばの歳時記
ろくがつ きご
～6月の季語～

にほん ろくがつ じゅうがつ がくせい きぎょう せいふく なつふく ふゆふく へんごう ころもが おこな おお はる
日本では、6月と10月に学生や企業の制服（夏服・冬服）を変更する「衣替え（ころもがえ）」が行われることが多く、春か
ら夏へ、また秋から冬へという季節の移り変わりを視覚で感じることができます。

まいとしきゅうれきろくがつ みなづき よ げんざい しんれきろくがつ べつめい もち みなづき ゆらい しょせつ
毎年旧暦6月を「水無月（みなづき）」と呼び、現在では新暦6月の別名としても用いています。水無月の由来には諸説があり、
もじどお つゆ あ みず か きせつ うつ か しかく かん おお ぎやく たうえ お た みず は ひつよう
文字通り梅雨が明けて水が涸れてなくなる月であると解釈されることが多いですが、逆に、田植が終わって田んぼに水を張る必要の
つき みずはりづき みなづき せつ ゆうりよく
ある月「水張月（みずはりづき）」「水月（みなづき）」であるとする説も有力です。

よーろっぱには、6月に結婚した花嫁は幸せになれるという言い伝えがあり、6月に結婚式を挙げる花嫁をジューン・ブライド（6
がつ はなよめ よ じき よーろっぱ いちねんじゅう もつと あめ すく よ てんき つつ けっこんしき あ
月の花嫁）と呼んでいます。この時期のヨーロッパは、1年の中で最も雨が少なく良いお天気が続くこともあり、結婚式を挙げる
かっふる おお
カップルが多いというもうなずけます。

しとしと雨の続く「梅雨（つゆ）」の時期にあたる日本の6月は、結婚式には向かない月とは言うものの、やはりジューン・ブライド
あこが ひと すく ひかくてきあんてい は ひ つづ じゅうがつ けっこんしき おお つき
に憧れている人も少なくなく、比較的安定した晴れの日が続く10月に次いで、結婚式の多い月だそうです。

A Calendar of Words

Seasonal Words for June

In Japan, it is often the case that in June and October, schools and businesses will engage in *koromogae*. This means that they change from winter to summer uniforms and vice versa. Because of this, you can actually see the transition from spring to summer and from fall to winter.

The sixth month of the year in Japan's old calendar was called *Minazuki*, and this term is still used as a name for the sixth month in the modern calendar. There are a variety of explanations on the origin of the name *Minazuki*. One common explanation is that, as the kanji in the word imply, the sixth month is the month in which the rainy season ends and there is no more water. However, another explanation is that *Minazuki* comes from *Mizuharizuki*, a name which refers to the fact that the sixth month is the month in which the rice planting is completed, and the rice fields are flooded with water.

In Europe, there is a saying that women who marry in June will be happy, and women who have their wedding ceremonies in June are called “June brides.” June in Europe is the month with the lowest rainfall and the longest continuous periods of good weather, and so it is no wonder that a lot of couples get married in this month.

Japan's *tsuyu* (rainy season), when it rains continuously, falls in June, and so the month is not really suited for weddings. However, there are a lot of women who want to be June brides, and June is apparently second only to October, when fine weather continues for comparatively long stretches, as the month in which the most people get married.